

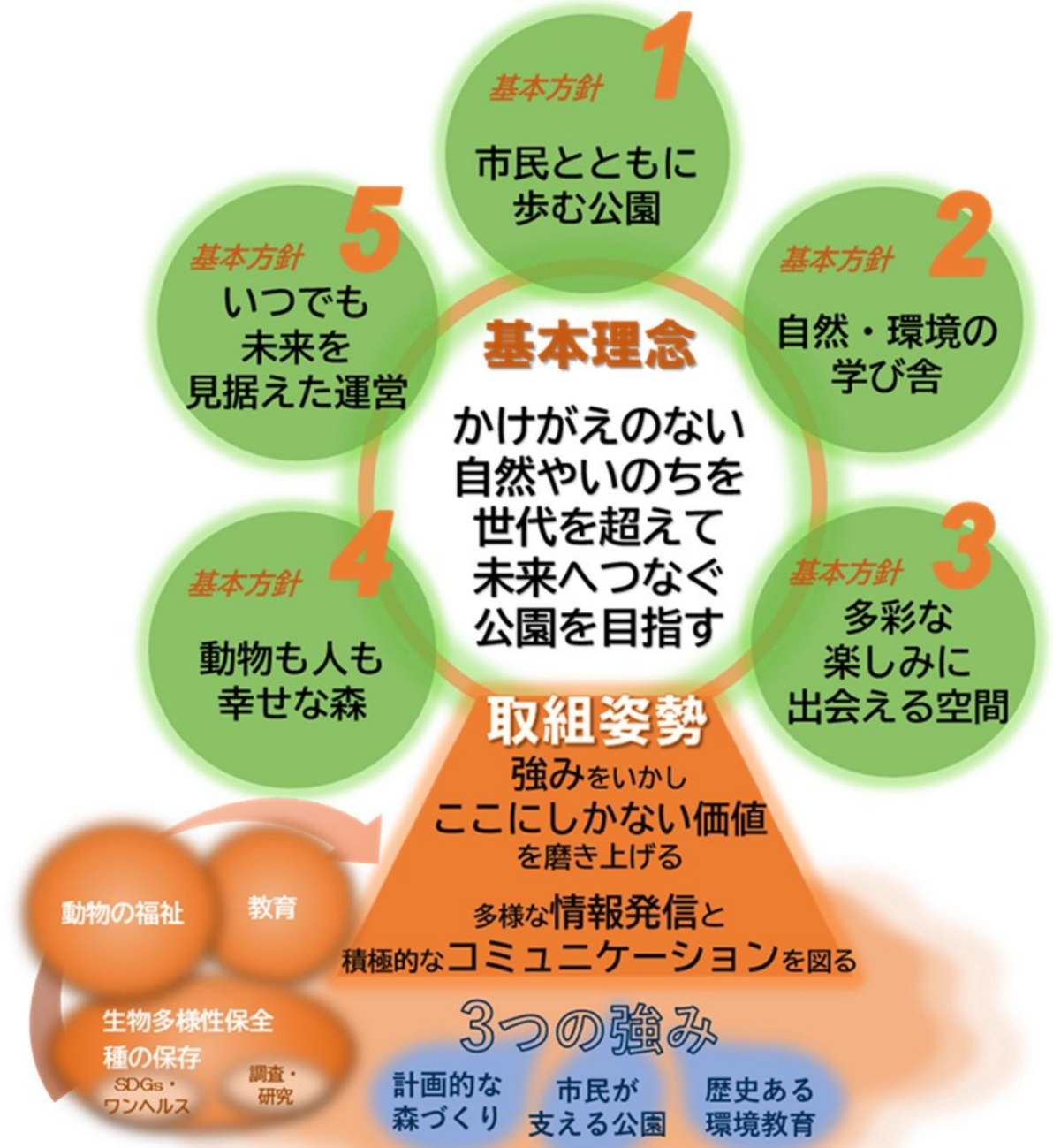


第3章

III. 到津の森公園の目指す方向性

園が目指す姿として「基本理念」を掲げます。そして、「基本理念」の実現のための取組方針として5つの「基本方針」を定めます。

「基本方針」の様々な取組は共通の「取組姿勢」に基づいて進めることとします。



1. 基本理念

これまで、開園前の平成 12（2000）年に策定した基本計画に基づき様々な取組を行ってきました。「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす」を基本理念に開園から 20 年、市民が支える公園として定着し、市民と自然の窓口となる「憩いの場」として役割を果たしてきました。

これからは、これまで支え続けてくれた市民や、緑豊かな自然やいのちなど公園の価値を高め、未来へつないでいくことが必要です。

次の 20 年の到津の森公園が目指すべき姿として、以下の「基本理念」を掲げます。

かけがえのない自然やいのちを
世代を超えて未来へつなぐ公園を目指す

2. 基本方針

基本理念を実現するため、次の5つの「基本方針」を定めます。

基本方針 1

みんなに愛され、これからを一緒につくっていく

「市民とともに歩む公園」

到津の森公園は開園以来、市民ボランティアや支援団体、動物サポーター・友の会など、多くの市民に支えていただき発展してきました。

この姿勢を継承し、これからも市民をはじめ企業や学校、地域、北九州出身者など「みんな」に様々な場面で園に関わっていただく機会を設けることで、「みんな」から愛されるよう、「みんな」と一緒に公園の未来をつくっていきます。そして、園で過ごした楽しい時間がずっと心の中にあり続け、「みんな」にとって身近な公園として世代を超えて愛される場所を目指します。

ボランティア活動の様子（ゾウのエサ採集）



動物舎の植樹イベントの様子



基本方針 2

自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学ぶ「自然・環境の学び舎」

動物の生態や園内の豊かな自然を活用した多彩な展示やプログラムを提供し続けることで、自然の仕組みを知り、自然や命の大切さを楽しく学んでいただける施設を目指します。

展示やプログラムの提供にあたっては、動物のありのままの姿や四季を通じて移ろいゆく園内の自然など、動物や自然の持つ魅力を様々な角度から伝えることができるように努めます。

また、地域の生物種の保存をはじめ、いきものや自然環境の保全に関する取組や研究を行うとともに、取組内容や研究結果を分かりやすく発信することで、園で提供するプログラムの充実にもつなげていきます。

四季を通じて移ろいゆく園内の自然



自然教育イベントの様子



基本方針 3

その人その人にあった楽しみ方・過ごし方を生む

「多彩な楽しみに出会える空間」

到津の森公園は動物を展示しているだけでなく、園内の豊かな森での散策や植物やいきものの観察などが可能です。また、遊具などの遊び場、食事ができるレストランや休憩スペース、自由に過ごせる大芝生広場などもあり、小さな子ども連れでも来園しやすいような設備も備えています。

この特性をいかして、「動物を見る」「動物とふれあう」以外に、自然観察や健康づくりなど、年齢やライフスタイルにとらわれず、人それぞれにあった多様な楽しみ方や過ごし方をすることができる環境を整えます。さらに、園のスタッフも来園者の多様な楽しみ方、過ごし方を探索し、企画・提案していきます。

また、他施設とも連携しながらプログラム等を企画・実施し、地域全体としても多彩な楽しみ方・過ごし方をつくっていきます。

昼と夜の芝生広場



ロビーでの写真展と音楽堂でのダンスイベント



基本方針 4

動物がありのまま幸せに暮らすとともに、

誰もが安心して過ごすことができる「動物も人も幸せな森」

これからの動物園は動物がストレスなく暮らすことができる場であることがこれまで以上に求められます。

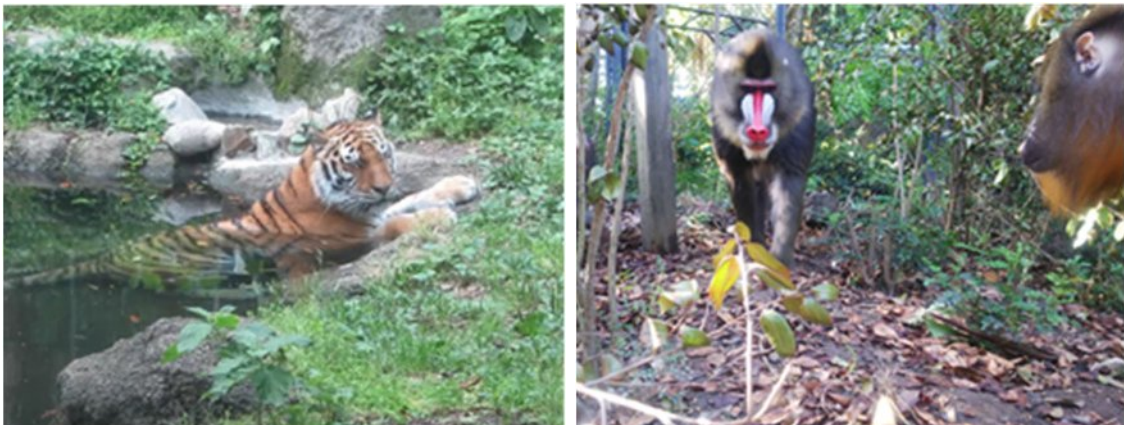
そのため、動物が自然に近い状態でのびのびと幸せに暮らせる空間を追求し続けるとともに、「動物の幸せ」と「人の楽しみ」のバランスが取れた飼育・展示方法やプログラムのあり方を考え続けます。

また、園内は立地の特性上、坂道が多く、歩いて移動するのが少し大変な側面もあります。小さな子どもを連れた家族、若者、高齢者や障害のある人など誰もが安心・快適に過ごすことができる環境づくりに努め、「動物も人も幸せな森」を目指します。

園内でのびのびと暮らす動物の姿



自然に近い飼育環境



基本方針 5

高品質なサービスを提供し続ける「いつでも未来を見据えた運営」

質の高いサービスを提供し続けるとともに、来園者に安心して楽しんでいただくための環境を維持・向上させていくには、いつも先を見据え、持続的に施設運営を行っていく必要があります。

そのために、園の強みをいかした取組をより一層進め、集客力を強化し、収益向上に努めるとともに、民間活力を最大限に活かす取組を行うことにより、サービスの質向上や過ごしやすい環境づくりへの投資等、園の魅力を高めるための好循環をつくります。

また、園のスタッフの人材育成に積極的に取り組むことで、スタッフによるサービス向上を図り、来園者が動物や自然の魅力に触れ、園での充実した時間を過ごすことにつなげます。

研修会等への参加



3. 取組姿勢

5つの「基本方針」の実行にあたり、次の「取組姿勢」を常に意識しながら取組みを進めていきます。

(1) 自然や立地など到津の森公園の強みをいかし、

ここにしかない価値を磨き上げる

到津の森公園は計画的な森づくりを進めてきており、長い時間をかけて、元の植生をいかしながら、新たな木々を育ててきました。交通アクセスが良い都市部に立地しながら、緑あふれる豊かな自然に囲まれて、動物がのびのびと暮らす姿を見ながら、自然の美しさや魅力を感じることができる公園です。

また、林間学園をはじめとした長い歴史を持つ環境教育等を行ってきた結果、多世代にわたり長く愛され、園で過ごした時間が多くの市民の思い出となっています。このように、園のコンセプトを支持いただき、多くの人々に園を支えていただけていることは「到津の森公園」にしかない強みです。

これらの強みをいかし、「到津の森公園」だからこそ提供できる価値を追求し続けます。来園者にここでしか体感できない時間を提供するとともに、自分たちのまちに動物園があることへの誇りを持ち、市民にとって身近な自然の森として、愛され続ける園を目指します。



(2) 多様な情報発信と積極的なコミュニケーションの充実を図る

動物にとっても人にとっても幸せで過ごしやすい環境への理解や、「到津の森公園」のコンセプト、動物園としての価値だけでなく多彩な楽しみ方・過ごし方などを効果的・効率的かつ丁寧に情報発信していくことは、来園者の増加や、園のサポーターを増やすためにとても重要です。

動物を見る楽しみだけでなく、自然の空気を思いっきり感じることや、いのちの大切さを学ぶこともできます。そういった、様々な過ごし方のできる場所であることを発信し、あらゆる世代からも選ばれる園を目指します。

また、今まで訪れたことのない人や、そもそも「到津の森公園」を知らない人たちに対しても園の魅力を伝えることができるよう、新たな情報発信の方法を検討するなど、目的とターゲットを見極め、媒体や発信内容を工夫し、効果的かつ効率的な情報発信を行っていきます。

さらに、「動物も人も幸せである環境」について、動物福祉の根底にある考え方を丁寧に発信し、「自然・環境教育」について伝えていきます。「到津の森公園」のこれからの未来をいつも見据え、積極的にコミュニケーションしていくことで、市民とともに歩み、多くの人に愛され、支え続けられる公園を目指します。

飼育員のお話



飼育員手作り看板



園の SNS による情報発信

